

ニュース のことば



F T A

わが国でF T A (Free Trade Agreement) 推進への注目が集まっています。F T Aとは、自由貿易協定のこと、貿易について、二国間や隣接する国・地域間で輸出入品にかかる関税や外資規制を取り払い、それらの国や地域の間で貿易を自由にするを目的とした協定です。世界のF T A締結件数をみると、W T O (世界貿易機関) 加盟国の増加や交渉項目の多様化を背景にそこでの機動的な交渉や合意形成が難しくなるなか、W T Oの役割である自由貿易体制の維持・強化を補完するものとして1990年以降急増しており、W T O資料によると90年の27件から04年には208件となっています(注)。F T Aの代表的なものとしては、北米自由貿易協定(N A F T A)、A S E A N自由貿易地域(A F T A)、南米南部共同市場(M E R C O S U R)などが挙げられます(図表1)。

わが国におけるF T A推進の背景には、こうした世界的な動きを受けるとともに、I Tの飛躍的発展や産業の高度化により世界経済の結びつきが一段と強まるなか、欧米の主要先進国及び地域が戦略的にF T Aを結んでおり、これらの国及び地域と比べF T A推進について出遅れていたことが挙げられます。しかしながら、わが国も90年代後半から東アジア各国等とのF T A推進に向けて積極的に動きだし(図表2)、02年にはシンガポールと初めてF T Aを締結し、また、メキシコとも本年3月に大筋合意となり、協定署名が待たれているところです。

F T Aの経済上の主なメリットとして、①複数の国や地域が一つになることで市場が拡大すること、②これにより競争が促進し、国・地域の経済が活性化すること、に加えて、③海外に進出している企業が既存のF T Aのために他の国の企業と比べて競争上の不利益を被っている場合、これを取り払うことが可能となること、が挙げられます。例えば、メキシコの場合、既に米国とE Uとの間でF T Aが締結されており、メキシコで活動する米国やE Uの企業と比較して日本の企業は、相対的に不利な状況にあります。しかし、わが国とメキシコとのF T Aが実現すると、この状況が解消されます。このように、F T Aは、輸出入市場の拡大や競争条件の改善などを通じて、相手国・地域との双方の経済活性化に繋がるため今後一層重要なものとなるでしょう。

先浦 宏紀

(注) W T Oホームページ掲載リスト (http://www.wto.org/english/tratop_e/region_e/eif_e.xls) (2004年5月1日現在)に基づく。

図表1 世界の主なF T A

協 定 名	発効年
CER (オーストラリア、ニュージーランド)	1983年
MERCOSUR (アルゼンチン、ブラジル、パラグアイ、ウルグアイ)	1991年
AFTA (ASEAN10カ国)	1992年
NAFTA (米国、カナダ、メキシコ)	1994年
SAPTA (インド、パキスタン他 南アジア諸国)	1995年
EU-メキシコFTA	2000年
米国-チリFTA	2004年
米国-シンガポールFTA	2004年

(資料) W T O、財務省資料を基に三重銀総研作成

図表2 わが国におけるF T Aの進捗状況

相手国	締結プロセス			
	事前検討	産学官協同研究会	政府間交渉	協定署名
シンガポール	99/11	00/3~9	01/1~10	02/1
メキシコ	99/2~00/4	01/9~02/7	02/11~04/3 (大筋合意)	
韓国	01/3~02/1	02/7~03/10	03/12~	
タイ	02/9~03/5	03/7~11	04/2~	
マレーシア	03/5~7	03/9~11	04/1~	
フィリピン	02/10~03/7	03/9~11	04/2~	
台湾	02/6~			
インドネシア	03/9~			

(資料) 農林水産省、外務省資料を基に三重銀総研作成